■コンクール入賞実績もある広報誌の発行をやめたとき（周知チラシはありますが）、保護者の方の反応はどんなものでしたか？（楽しみにしている方もいると思います）

本来広報誌は、PTA 活動をお知らせするものと聞いているので、今夏の対策は良いもの（負担軽減・本来の目的である）と思っています。また、周知チラシを作成する担当の方は何名程度いらっしゃいますか？広報誌を廃止した際、アンケートにより廃止したのか？廃止の影響は？（継続を希望する強い意見はなかったのか）

■広報誌をなくしたことによる地域への影響はないのか？楽しみにしている人もいたのでは？

→廃止の方向性は、年度末に決めたため、その年の広報部の方は、複雑な思いはあったとは思いますが、役員数の削減と教員の負担軽減等丁寧に説明し、理解をはかりました。

→廃止に当たって、アンケート等はずりませんでした。負担軽減や人数の見直しには、不可避なものでしたので、決定事項として新年度の役員会で伝えました。

→広報誌廃止による影響や反対の意見は、いまのところ特に聞いていません。本校は、月に1回、学校新聞（生徒会新聞部作成：こちらは何度も全国、県で賞をいただいています。）を発行しています。学校の様子については、そちらで発信しています。チームによるチラシの作成もあり、代替となるものがあるため、影響や意見は少ないのかと思います。

→チラシの担当は、各チームに任せていますが、本年度のについては、各チームに入っている会長、副会長が担っています。

■PTA 会費を保護者会計と学校・学級会計へ移行したとのことだが、もう少し具体的な内容を聞いたかった。また会費の見直しで部活動への支援（補助金）に支障はなかったのか？

■PTA 会費の件で、保護者会費の軽減ですが市 P 連、県 P 連会費は学校から徴収することになるのでしょうか？1年間費を減らすことで活動内容を限りなく縮小させるのではないのでしょうか？

■会計について、保護者会活動についてのみ保護者会計とあり、全家庭に関する費用は学校・学級会計とのことですが、移行はスムーズにできましたか？本校では「学校はお金をあつかわない」とのことです。PTA が集金から執行・監査まで行います。可能であれば移行できたポイントを教えていただきたいです。また、市 P 連や県 P 連への会費はどこから負担しているのでしょうか？

■どのようにして会費軽減が成功し、会費がどのように支出され、1 家庭が 300 円に収まっているかを聞きたい。

→組織を見直すにあたり、会計も見直しました。全家庭が入っているわけではないので、全校生徒あるいは、学校全体を対象としたものに支出はしません。

→まず、年間 5000 円程度集めていた「課外活動援助費」（主な支出は部活動）は、一律徴収せず、各部活動ごとの徴収にしました。多くの部はもともとあった部活動の保護者会の会費と統合しています。

→保護者会会計においては、予算として大きかった「教育活動援助費」「慶弔費」を廃止しました。「慶弔費」は、そもそも執行が少なく、毎年一定額の予算を必要とするのに、繰越すことがほとんどでした。また、会員だけが対象となるため、会員外の保護者の方にご不幸があった場合でも執行は難しいため、

保護者会としては、対応しないということで、廃止としました。

→「事業費」も保護者会が主催のものに支出を限ると、それほど、多くはかかりません。「合格鉛筆」の配布や「合格祈願」について、以前は保護者会の事業として行っていましたが、現在は、3年生の学年集金で集めるようにしています。レクリエーションは、保護者どうしの親睦を保護者会が主催して行っているという趣旨で、会員外の人が参加しても負担しています。

→「旅費」も市や県が支出しないものに限定すると、それほど多くの金額はかかりません。(コロナ禍による行事の縮小もあったのかもしれませんが) 実態に応じて、実費(年度初めに場所による金額を決めている)を支出しています。

→現在の保護者会の予算は、旅費、研修・会議費、事業費、事務費の4項目で、移行に際し、初年度は、基本的には、今年度徴収した分をすべて支出するように予算立てを行いました。その予算を集めるのに必要な金額を会員数の見込みから算出し、会費の決定を行いました。(最初は、450円でした) そこから2年かけ、調整を行い、現在は、年額300円となっています。

→市P、県P会費については、保護者会の会費とは別に徴収しています。

→必要だけれども、公費で賄えない部分については、市内外の補助金を申請し、活用したりしている部分もあります。

■PTA未加入の方の行事参加OKと伺いましたが、未加入者の有事の際(けが、事故)の保険の対応はどのようにするか?危険だなと感じました。

→現段階で、対象となるのは、交流チーム主催の「レクリエーション」です。保護者会の主催ではあるものの会員でない方は、PTAの保険の対象とはならず、現段階では、各自の保険での対応となってしまいます。この点が、懸案でもあり、「イベントごとには、1日保険のようなものへの加入が必要ではないか」ということも検討しています。

■非会員でも炊き出し等を食べたりできるのか、合格祈願をもらえるのが?知りたかった。

→「合格鉛筆」の配布や「合格祈願」について、以前はPTAの会計でしたが、現在は、3年生の学年集金で集めるようにしています。炊き出しは現在行っていませんが、全員が対象となる場合は、保護者会会費からの支出や徴収はせず、学年集金で徴収することになります。

■名称を変更して何が変わったか、変わった活動内容に興味があります。

■保護者会に名称変更してもなぜ、加入率が上がらないのか。

■保護者会と名称を変えています、教職員の加入はどうなっていますか?

→名称の変更は、組織や取り組みを見直し、刷新感を伝えたいという思いから行いました。また、「保護者会」なのだから、保護者には極力入ってほしいという思いもありました。

→「保護者会」としたところで、加入に強制力が出るわけでもなく、あくまで任意であることには変わりありません。PTAという組織が、必要であることは、保護者会、学校とも一致した意見です。そう考えたとき、もちろん100%の加入が望ましいですが、是が非でもそこを目指しているわけではありません。持続可能な組織を目指して、知恵を出し合い、より多くの方に入っていただくことを最優先に取り組みを行っています。

→保護者会という名称ではありますが、他校のPTAと同様に、教職員も入っています。教職員の加入

は100%です。(こちらも強制ではありませんが、年度初めに校長から種子を説明し、職員に理解をはかっています。)

■親睦会に対して、先生の残業時間が多い中、本当に参加したいかが疑問に思います。保護者会もほとんど専門部や役員の方の参加が大半で、一般？みたいな方の参加が少ないのでは？

→先生方が、参加したいかどうかの確認までは行っていませんが、役員の懇親会、レクレーション、レクレーション後の親睦会には、多くの先生が参加しています。しかし、強制ではありません。学校の方でも、その趣旨を職員に十分説明し、保護者と教職員で親睦を深める貴重な場として、理解してもらっていると聞いています。レクレーション、懇親会とも役員以外の参加もあります。特にレクレーションは、多くの一般会員の方が参加します。会員でない方も多くはありませんが、参加しています。本年度参加した方が、楽しさを伝えてくれ、年々参加者が増えることを期待するとともに、未加入の方が、参加を通じて、保護者会への理解が深まり、会員になってくれることを期待しています。

■参加されていない世帯は3年間同じ世帯？

→「ずっと入っていない」「途中でやめた」「途中から入った」いずれのパターンも存在します。どのパターンが多いかまでは確認していません。1年生の段階での加入が重要だととらえ、入学式の間か入学説明会の場で、加入に向けた説明を役員で行っています。